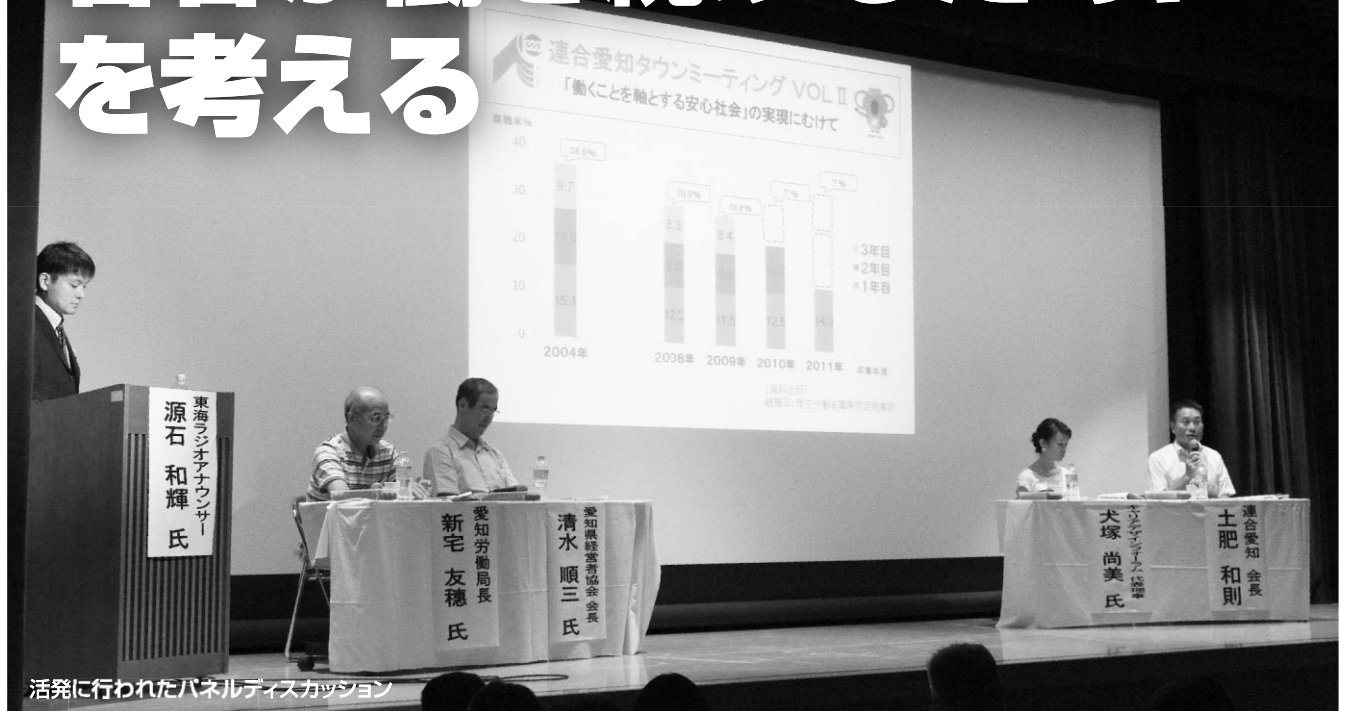


若者が働き続けるために! を考える



活発に行われたパネルディスカッション

連合愛知タウンミーティング Vol. II を開催

連合愛知は、8月24日(土)伏見ライフプラザ(鯉城ホール)において、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけてのタウンミーティングを開催し構成組織、地域協議会、政策推進議員、後援団体、一般市民から505名の参加があった。昨年より2回目の開催となる今回は、新学卒者の3年以内の離職率の増加が懸念されている事を受け、「若者が働き続けるために!を考える」をテーマとした。

第1部では、パクンマクン(タレント)が出演し、テ



パクンマクンによるステージ

ーマに合わせたコントを披露、会場を盛り上げた。また若年層組合員、大学生とともに、事前に行った街頭インタビューの様子を放映し、若者の働くことへの思いをクイズ形式としたトークディスカッションを行った。

第2部は、愛知労働局・新宅局長、愛知県経営者協会・清水会長、NPO法人キャリアデザインフォーラム・犬塚代表理事、連合愛知・土肥会長によるパネルディスカッションで、現状の共有と早期離職の原因やその背景を探りながら、今後の対応など活発な意見が交わされた。(詳細は次ページ)

トークディスカッション



「連合愛知タウンミーティング VOL. II」特集

若者が働き続けるために!を考える「連合愛知タウンミーティング VOL. II」(主催:連合愛知、共催:愛知県労働者福祉協議会、後援:愛知労働局、愛知県、名古屋市、愛知県経営者協会)が8月24日、名古屋市中区の伏見ライフプラザ鯉城ホールで開催された。

テーマは「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」。深刻さを増す若者の早期離職をいかに防ぐのか。

市民や労働組合関係者ら505人が参加し、専門家による議論に熱心に耳を傾けた。

冒頭、連合愛知の土肥和則会長は主催者挨拶に立ち、「15～25歳の若者の失業率は6.9%と高い。本日は連合として何が出来るかを皆さんと共に考えたい」と訴えた。

第一部 トークディスカッション

「第一部 トークディスカッション」では、ゲストのパックンマクンが「若者の早期離職」をテーマにしたミニコントを披露。

その後、若者が働き続けるために何が必要かなど、街頭アンケートで聞いた映像を2人の回答者を交えながらクイズ形式で紹介した。



パックンマクンのミニコント

「就活で会社の実情を把握するには限界がある」と、就職活動で悩んだ心情を吐露した。一方、銀行に就職して4年目の西紗智子さんは「今でも職場で周囲に迷惑をかけてしまう自分が歯がゆい。もっとがんばりたい」と、理想と現実の間で葛藤する日々を振り返った。

街角アンケート風景



クイズに参加した大学生の奥田麻友さんは、自身の就職活動を振り返



盛り上がる会場



奥田麻友さん(大学生)



西紗智子さん(JP労組)

第二部 パネルディスカッション

パネリスト

新宅 友穂氏 愛知労働局長
 清水 順三氏 愛知県経営者協会 会長
 犬塚 尚美氏 特定非営利活動法人
 キャリアデザインフォーラム
 代表理事
 土肥 和則氏 連合愛知 会長



愛知労働局
新宅局長



愛知県経営者協会
清水会長



特定非営利法人
キャリアデザインフォーラム
犬塚代表理事



連合愛知
土肥会長

コーディネーター

源石 和輝氏 東海ラジオアナウンサー

—若者の就労実態は。

新宅 高校生や大学生などの新規学校卒業者で、就職後3年以内の離職者の割合が非常に高い状況に

ある。大学生では約3割、高校生では約4割に達する。「早期離職」の防止は労使ともに重要な課題といえる。

清水 経営者は若手従業員の受け入れ体制や教育などを見直して、コミュニケーション不足や誤解を原因とする離職を減らす努力が必要だ。一方、求職者は「この会社で何をやりたいか」を十分に考えて就職先を選ぶことが求められる。

犬塚 自分に一体何ができるのか、何をしたいのかが不明確な若者が多い。その結果、なかなか仕事に就けなかったり、入社後すぐに辞めたりする人が少なくない。いわば「適職探し」を続けている。

土肥 連合愛知にも労働相談ダイヤルや勤労者安心ネットワークを通じて人間関係、パワーハラスメント、劣悪な労働条件に悩む若者の声が続々と入ってくる。早期離職の防止には、職場環境の改善が不可欠だ。

——早期離職の原因、背景とは。

新宅 職場の人間関係が希薄になっていることが一因だろう。最近では公私の別を相当はっきりさせる傾向が強いが、若者の中にも逆に日本的なウェットな人間関係を求める気持ちが少なからずあると思う。

清水 企業がバブル崩壊後に人材採用を抑制したことによる人員構成のいびつさが一因になっていると思う。加えて、若者自身のコミュニケーション下手も要因だろう。なかなか特効薬は見つからないのが実情だ。

土肥 相談したくても相談する人がいない、またそういう機会もない。それで結局悩んで、会社を辞めてしまう若者が多いのではないだろうか。またIT(情報技術)化が進む中で、パソコンをただただで仕事が完結してしまうことも背景にあるような気がする。

犬塚 若者に聞くと、上司が仕事を教えてくれないと

いう声が非常に多い。その一方で、当の若者も上司が常に忙しそうで「教えてください」と言いにくいそうだ。このように若者の離職の原因は人間関係に拠るところも大きいと思う。

——若者が働き続けるためには何が必要か。

犬塚 一言で言えば、今日の議論のテーマでもある「軸をもつこと」。自分の興味(好きなこと)、能力(できること)、価値観(大切なこと)をしっかり見つめ直せば、どのように働き、どのように生きていくか、軸がもてる。そのための支援が、会社や家庭、学校に求められている。

新宅 家庭の中で親や家族が仕事について話したり、教えたりすることは有効だと思う。また地域社会において様々な職業の方が働くことの意義や喜びを若者に伝える場を設け、若者一人ひとりが自分なりの職業観を醸成できるような枠組みづくりも必要だろう。

清水 企業は入社時のミスマッチをできるだけ減らし、入社後もコミュニケーションを工夫して全社を挙げて新人を育成する風土づくりが必要だ。若者をうまく使いこなせないようでは競争を勝ち残っていけないと覚悟すべきだろう。

土肥 やはりディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい雇用)、すなわち人間の尊厳が守られる適正な仕事を堅持していくことが重要だろう。連合としては社会的なセーフティーネットを整備しながら、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えている。

——「働くことを軸とする安心社会」の実現を期待してやまない。皆で手を携えてがんばっていこう。

「願う」平和から「叶える」平和へ。

2013 連合平和行動 in 根室に参加

連合愛知は9月14日～15日、連合主催の平和行動in根室に宮田副会長を団長とする16名で参加した。

14日に行われた北方四島学習会では、参加者は5つのセミナーに分かれて受講、元島民の思いや北方四島の現状などの講演を聴くことにより、北方領土問題に関する知識を深めた。

翌15日には、霧・小雨というあいにくの天気の中、平和ノサップ集會が開催された。

主催者を代表し南雲事務局長より、遅々として進まない北方領土返還交渉の中、元島民の高齢化が進んで



おり、一刻も早い返還に向け連合としても活動を続けていく決意が述べられた。平和リレーのピースフラグを沖縄にリレーし、集會アピール案は満場一致で採択された。

女性リーダーの活躍を願って

女性リーダー養成講座2012成果発表会・フォローアップセミナー

連合愛知は「ACTION PLAN AICHI-II」に基づき、「労働運動を取り巻く重要な課題の克服に挑戦し、乗り越えることができる女性リーダー」の養成にむけ、2009年より4期にわたり講座を実施している。今回は



藤野講師による講演

8月31日、名鉄グランドホテルにおいて「女性リーダー養成講座2012成果発表会・フォローアップセミナー」を開催した。2012年度修了生12名の成果発表会を行い、昨年からの女性仲間を増やすため取り組んできた成果について発表



連舩参議院議員と

した。また、過去の終了生を対象としたフォローアップセミナーでは、株式会社Y'sオーダー 藤野講師から「固定概念的な枠を取り払い、様々なイベントを機会に変えて、自分らしいリーダーに育ってほしい」、連舩参議院議員からは「女性も積極的に社会に出て活躍してほしい」とエールを送っていただき、それぞれがリーダーとして頑張っていく意識付けとなった。

地域に根ざした顔の見える運動を目指して

2013地協役員研修会を開催



あいさつに立つ土肥会長

連合愛知は8月25日～26日、ロワジュールホテル豊橋において「2013地協役員研修会」を開催した。地協運動の強化と

地協役員研修・交流を目的に実施している本研修会には、土肥会長をはじめ、各地協の代表など92名が参加した。

土肥会長のあいさつに続いて、j.union株式会社の西尾会長より、地域における労働組合の役割をテーマに、今後いかに労働組合の認知度やブランド価値を高めて

いくかなどの講演があった。

また、連合本部の倉永局長より、地域での組織拡大をテーマに、1000万人連合実現に向けた具体的な取り組みと課題について具体的な事例をふまえた講演があった。

本研修会を通して参加者は、労働組合の現状や課題などについて理解を深めるとともに、地域に根ざした顔の見える運動を前進させるべく、地協が担うべき役割について再確認することができた。



話を聞く参加者

連合愛知 助け合い運動

期間 10月1日～12月20日

組合員のみなさんの大切なお金を各種福祉事業に幅広く役立てていくために、積極的なご協力をよろしくお願いします!



募金箱の設置にご協力を

第11回 執行委員会 2013年8月30日

確認事項

1. 当面の日程について
2. 2014年度年間大日程(案)について
3. 構成組織の組織拡大について
4. 2014年度「組織拡大スタート月間」の取り組みについて
5. 勤労者安心ネットワークセンターの認知・定着について
6. 江蘇省総工会第15次友好訪日代表団の対応について
7. 街頭宣伝行動の取り組みについて(2013年9月)
8. 2014地域ミニマム運動(個別賃金調査)の取り組みについて
9. 連合愛知重点要望書に対する愛知県知事との懇談会の開催について
日 時:2013年10月25日(金) 10:00~11:30
場 所:KKRホテル名古屋 3F「芙蓉の間」
10. 2013年度教育改革運動への協力について
(1) 「愛知の教育をよくするための県民陳情署名」(団体署名)への協力
(2) 第63次教育研究愛知県集会への参加
日 時:2013年10月19日(土) 9:30~11:25
場 所:愛知県産業労働センター(ウインクあいち)大ホール
11. 確定申告運動担当者会議の開催について
日 時:2013年10月17日(木) 10:30~11:30
場 所:ワークライフブラザレある 6F大会議室

12. 2013連合助け合い運動について
13. 連合愛知助け合い運動『共同募金会配分施設』の視察会について
14. 2013家族参加型レクリエーションの実施について
日 時:2013年10月19日(土) 10:00~15:00
内 容:伊勢湾クルーズ&ランチバイキング
15. 「北方領土返還要求運動」の標語募集の協力について
16. 「北方領土の日」ポスターコンテスト作品募集の協力について
17. 北方領土返還要求街頭啓発・署名活動の協力について
18. 第26回愛知県勤労者スポーツ大会の対応について

議 事

1. 2014年度活動方針(案)
2. 各種審議会・委員会等への派遣について
3. 諸規則の一部改定(案)について
4. 連合愛知第25回定期大会の開催について(公示)
日 時:2013年10月28日(月) 13:00~17:00
場 所:名古屋市公会堂 大ホール
5. 連合愛知第25回定期大会の代議員選出について
6. 2014年度暫定予算について
7. 新城市長選挙に伴う候補者推薦について
推薦候補者:穂積 亮次(ほづみ りょうじ)
[無所属 現2期]
投開票日:2013年11月10日(日)

ピークカットアクション21 **節電のススメ** 冬のヒント

待機電力を減らそう!

家庭の消費電力量 4,734kWh/年・世帯
出典:省エネ4Kセンター「平成20年度節電時消費電力調査報告書」

待機消費電力量 285kWh/年・世帯 6.0%

機器使用による消費電力量 94.0%

待機電力とは、電源の切れている状態(待機時)でも、コンセントに接続されていることによって、消費される電力のことです。なんと、家庭における年間電力消費量の約6%を、この待機電力が占めています。つかわない機器のコンセントを抜いたり、スイッチ付きテーブルタップを活用することで、無理なく節電ができます。

http://www.rengo.org/ 総合エネナビ21

ZENROSAI NEWS

いざという時、あなたとご家族を支える介護保障。ゆとりある人生の備えです。

全労済は、営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済**

いざという時、人生を変える介護保障
◎総合医療共済
◎終身介護プラン・定期介護プラン
経済生命共済・個人長期生命共済
全国労働者共済生活協同組合連合会

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談 専用電話 **052(618)7831** なやみいちばん

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談 場所/(社)日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

地 協 紹 介

豊田地協

こんな活動やっています！

国政研修会：6月7日（金） 東京参議院議員会館・国会議事堂



古本議員については、懇親会にも対応いただきました。

豊田地協：足立団長はじめ24名で国政研修を実施。議員会館では、直嶋参議院議員、古本衆議院議員、安井参議院議員と懇談を行い組合員の声をお伝えしました。

組織拡大活動：6月16日（日） 豊田市西部コミュニティーセンター



春の取組みや組合費、ユニオンショップ制などについて、質疑応答を中心に2時間程度実施。

街頭宣伝行動：6月17日（月）豊田市駅・6月20日（木）三好ヶ丘駅



暑い中、また雨の中で、格差社会を無くそう！最低賃金をチェックしよう！と呼び掛けていただいた皆様、お疲れ様でした。

三役、幹事会：6月21日（金） カバハウス2階



みよし市の高木市議より駅前カリヨンハウスの件を中心に市政報告。

参議院議員候補予定 大塚 耕平氏が挨拶に来られました。

政策推進議員との懇談会：8月1日（木） カバハウス4階



政策推進議員との交流を行いました。

三役、幹事/25名、政策推進議員、和やかな雰囲気の中意見交換を行った。



全体懇談会では、国政報告を古本衆議院議員、各グループ懇談会では、県政・市政報告を各県議や各市議に行っていた後、意見交換を行いました。

中村グループ

樹神グループ

小山グループ